

2026年3月7日開催（8226）理経

お時間により当日ご紹介できなかったご質問へのご回答

前回防衛関係費予算が伸びると聞いていたのですが、株価の上昇は足りないと思います。623円を通過点として1000円超えはありますか。

- 現時点で2027年の中計での想定EPSは、46.3円。1000円超えを目指すにはPERが20倍が必要となります。EPSを上げる努力を行いつつ、PERを上げるべくIRPR施策を行ってまいります。

社員の平均給与が47.6歳で643万円ですが、社員は満足しているのでしょうか。三菱重工の社員と比べて非常に低いです。

- 給与については、毎年ベースアップを含めた賃金改定を行っております。今後も業績等を考慮しながら、賃上げを行っていく予定です。

半導体業界では光通信回路と通信回路を1つの半導体チップにする光電融合技術が注目を集めています。

御社は光通信の商材があるので関係してくるのでしょうか？

- 光通信関連に該当する当社の取り扱い商材は、導電性接着剤があり、光電融合技術の製造工程にて、接合用途として利用される可能性があります。今後の業界動向と技術を注視しつつ、ビジネスの機会を模索してまいります。

2025年3月期の利益拡大は防衛関連案件の寄与が大きいと思いますが、もし防衛予算の伸びが止まった場合、現在の利益水準を維持できる事業構造になっているのでしょうか？

- 当社グループに関わる防衛省予算が、今後は縮小することも想定し、2025年6月に開示した中期経営計画（26年3月期から3か年）では、既存三事業の商材の充実化と、NEXT事業創出（宇宙ビジネス、AI関連ビジネス）を柱にした事業計画を立てております。

2025年3月期は防衛関連の伸長で営業利益が大きく増加していますが、この成長は一過性なのか、数年間継続すると見えますか。

- ご指摘の通り、防衛省予算の増額で、当社グループの防衛関連事業は大きく増加しております。世界情勢の動向から、数年は同程度の水準で推移するものと想定しております。

現在の株価は PBR1 倍前後の水準ですが、会社として現在の株価をどのように評価していますか。

- 2024 年 3 月末は 292 円であったところから現在 500 円台前後となり、業績と連動し順調に上昇していると考えております。

AI・ロボットなど次世代技術分野でのビジネス展開はありますか。

- AI、ロボット関連のビジネスにおきましては、Epic Game、NVIDIA、Meta 社等と多くの取組を既に実施しており、弊社 HP に事例も開示しております。

<https://www.rikei.co.jp/vr solution/>

電子部品及び機器セグメントの防衛関連依存度は今後どの程度まで高まる可能性がありますか。

- 2025 年 3 月期の実績では、電子部品および機器事業の売上のうち、85%が防衛省関連となっております。防衛省予算傾向から、数年は同程度で推移すると考えております。

人的資本投資の考え方を教えてください。

- 持続的な成長の一環として、従業員の心身の健康維持・増進への取り組みと心理的安全性の確保、ワークライフバランスの推進と多様な働き方の促進、リカレント教育を進めております。

宇宙ビジネスは SpaceX のような世界的トレンドがありますが、理経はどのポジションを狙っていますか。

- 昨年以降、当社の宇宙ビジネスの取り組みに関するセミナーを X-NIHONBASHI BASE で開催（3回）、SPEXA(国際宇宙ビジネス展)への出展、及び、HP でニュースリリースにて事例紹介、投資家向け決算説明会資料に詳細を掲載しております。

現在、配当性向 30%を基本方針とされていますが、利益成長に応じて配当性向の引き上げや増配余地はあるのでしょうか。

- 今後の利益成長に応じて、機動的な配当政策を適宜行ってまいります。

防衛省の予算は新年度はかなり増額ですか。

- 令和 5 年に開示された防衛予算計画通りに推移すると思われれます。